レッスン：PYR 8

テーマ：潜在的可能性の4番目および5番目のサイクル

PYR8 KE03/A12

私の姉妹、兄弟たちよ、

スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、主の聖性の絶対のなかに抱かれています。

最後のレッスンでは、潜在的可能性のサイクルのなかに見いだす助けの他に、4番目のサイクルにいるパーソナリティーはキリスト意識に到達するために、助けとして3次元の他のシンボルをも使用すると述べました。そのシンボルとは六面ピラミッドであり、それはパーソナリティーが何であれ六芒星から提供されるものを使用する上で助けとなります。それは、その現在のパーソナリティーは何であれ天上人がLifeから現在のパーソナリティーに提供するものを現わすようになる、ということを意味します。

　ですから様々な助けがあり、前に説明した3つの助けは四面ピラミッド、三面ピラミッド、そして五面ピラミッドです。そして勿論、これら３つをマスターすることによって、一面ピラミッドを形成し、それは円錐のことです。これは全てのサイクルで生じるのでしょうか？前に説明したように、それは全てのサイクルで起きるわけではありません。それは1番目、2番目そして3番目のサイクルで生じ、3番目をマスターすると五面ピラミッドは完全に現在のパーソナリティーによってマスターされることになります。それは現在のパーソナリティーが今や意識的に5つの感覚を使用していることを意味し、それ以降は五面ピラミッドはもはや現在のパーソナリティーに提供するものは何もありません。

　次のサイクルでは何が起きるのでしょうか？現在のパーソナリティーが実際にそのサイクルをマスターするために進んでいく上で、どのような助けがあるのでしょうか？

　四面ピラミッド、三面ピラミッドがあり、5面ピラミッドはもはや助けにはなりません。意識の残りの境界を取り除くために現在のパーソナリティーは何をするのでしょうか？その前のサイクルでは円錐を形成すると言いましたが、それはあるレベルを意味します。意識の拡大であり、それはそのパーソナリティーが真の感覚の影である感覚ではなく、真の感覚をより以上に使用することを意味します。

　さて、4番目のサイクルでは何が生じるのでしょうか？パーソナリティーにとって最初は多くの転生を重ねる間、2つの助けだけがあります：3面ピラミッドそして4面ピラミッドです。そしてパーソナリティーがこのサイクルをほぼマスターする近くに到達すると、パーソナリティーは六面ピラミッドを使って、それを三面ピラミッドと共に回転させます。それは一体何を提供するのでしょうか？それは何であれ5番目のサイクルが提供するものを与え、それは勿論六芒星です。そしてそのパーソナリティーは4番目のサイクルをマスターし、そして5番目からのものもあります。

　そのようなパーソナリティーは同調を使用し、もはや五感を使いません。パーソナリティーは二元性を背後にし、また思考の表現をも背後にし、そのパーソナリティーはキリスト意識に到達します。つまり最初の磔、自己実現に到達します。

Page2

　過去に説明したように、それが達成可能なのは、同時に現在のパーソナリティーの諸世界の中で小さな三角形をマスターしているからです。その小さな三角形は存在の諸世界にある三角形と同一形であり、存在の諸世界にあるその三角形の頂点は汎宇宙的キリストロゴスの大きな三角形の頂点と同じであり、また天上人を意味する六芒星の中心と一致しています。その六芒星はイエスキリストロゴス絶対存在を意味しています。

　私が今話しているそれらの三角形はどれでしょうか？あるレッスンで存在の諸世界にはペアーとなっている三角形が２つあると述べました。一つのペアーはその底辺が水平で、その底辺は上から下への2つめの長方形を形成し、存在の諸世界を意味しています。

　もう一つのペアはこの長方形を完成し、それは垂直の線です。

これら4つの全ての三角形の頂点はこの長方形の中心で出会い、それはまた汎宇宙的キリストロゴスの大きな三角形の頂点とも一致しています。それは六芒星の中心です。

　ですから、これと底辺が一致するこの三角形があり、パーソナリティーは現在のパーソナリティーの潜在的可能性の大きなサイクルをマスターした、というとき、それはそのパーソナリティーは最初の磔に到達したことを意味します。つまり自己実現に到達し、勿論最終的にキリスト意識に到達したということです。それは、この三角形が上へと来て、その頂点がもう一つの三角形の頂点と一致するということです。それゆえに、現在のパーソナリティーは今や主、神の慈悲を現わすことができるのです。

　それはどこで現わされるのでしょうか？実存の諸世界においてです。なぜなら、この三角形にはそこに留まる能力があるのですが（つまりその現在のパーソナリティーはという意味ですが）、その三角形はそこには留まらず、再び実存の諸世界へと戻り、そのパーソナリティーは転生のサイクルに留まるのです。これらの詳細に関しては過去に話しました。

　さて、私たちが述べたようにこれ全てはあなた方に提供されています。しかし、現在のパーソナリティーはまだこれらを達成しておらず、まだそれらの意識レベルに到達しておらず、大多数の人々は転生の2番目のサイクルにいます。それなのになぜ、私たちは3番目および4番目のサイクルについて話しているのでしょうか？私達は現在のパーソナリティーが自己実現に到達するように、実際になにを期待することができるのかを話しているのです。

　2番目のサイクルで、初めて現在のパーソナリティーは気づきの上昇に向けて努力するようになります。最初のサイクルではいかなる努力もありません。なぜなら、現在のパーソナリティーが1番目のサイクルにいる間は、いわゆる本能的潜在意識的意識のセルフエピグノシスを現わしていて、そこには何の努力も行われないからです。現在のパーソナリティーにおいて啓発に向けてのどのような動きがあっても、それは本能的に行われるからです。それは経験の結果としてなされるだけで、それ以上ではありません。

　現在のパーソナリティーが2番目のサイクルに入ると、徐々にゆっくりと現在のパーソナリティーは興味を示すようになり、より良いセルフを現わすために現在のパーソナリティーは自分の理解に従って必要なことを行うようになります。ですから、実際に努力というものは2番目のサイクルで行われるのです。

　さて、繰り返しますが、なぜこの知識を話しているのでしょうか？それは潜在意識的意識のマインドに対する食物なのです。その結果として、あなた方の次の転生においては、現在のパーソナリティーは潜在意識のマインドの表面に近いところにこれら全ての助け、全ての知識があるようになります。そして何であれそこに貯蔵されているものは、現在のパーソナリティーが実践する上で必要な時には表面に浮上するのです。すると、今現在のパーソナリティーが行っているようにレッスンに参加する必要はなくなることでしょう。

Page3

 現在のパーソナリティーは同時に生徒として、そして探求者として座る必要はなくなります。なぜなら、生徒において知識はすでに潜在意識に入っているからです。そして繰り返しますが、それが知識として、実践する準備ができている何かとして表面に浮上するのです。それ故に、皆さんにはこれら、与えられるものが与えられているのです。

　あなた方に与えられるもの全ては未来において大いに役立つでしょう。あなた方はわからないかもしれませんが、現在でも大いに役立つのです。なぜなら実際には現在または未来はないからです。全てはあなたの中にあるのです。

　私たちは今エクササイズに、助けに対する詳細にフォーカスする必要があります。そして2番目のサイクルにおいてそれら様々な助けをどのように実践していくかに。しかし、同時に私たちは様々な助けを「創造の元型」に関係づけていきます。現在のパーソナリティーにとって「創造の元型」は最大の助けです。なぜならば、それによって現在のパーソナリティーはその不定形の体を再形成するからです。それはつまり、現在のパーソナリティーが天上人の身体を使い始めるということであり、それによって勿論そのパーソナリティーは自己実現に、キリスト意識に到達します。そして自己実現した人として現在のパーソナリティーは不可視のヘルパーの仕事を行うようになるのです。

Ｑ：パーソナリティーが自己実現に到達して神の慈悲、アガピの慈悲を現わすということですが、何がその能力または権威を与えるのですか？その権威を実際に何が与えるのですか？

Ｋ：何が権威を象徴しますか？キリスト意識および14芒星です。14芒星のシンボルがなければ、自己実現した現在のパーソナリティーは他人の痛みを背負うことは許されません。

Q：前にあなたは自己実現した現在のパーソナリティーとまだずっと下のレベルにいる普通の人間の間は14芒星によってつながっている、そこにはリンクがあると言いましたが、それはどのようにして起きるのですか？

K：もし自己実現した現在のパーソナリティーが自己実現のレベルに留まると、不可視のヘルパーまたは自己実現に到達した現在のパーソナリティーは人々を助けることができません。なぜでしょうか？なぜなら波動が違うからです。それゆえに、この三角形はその元々の場所に再び戻るのです。それによって自己実現に到達した現在のパーソナリティーは転生のサイクルに留まることができ、再びサイコノエティカル体を使用することができるのです；言い換えれば、現在のパーソナリティーの高次ノエティカル体を不定形の諸体の波動に下げることによって、引き続き14芒星を持つことができるのです。しかし、この場合、自己実現に到達した現在のパーソナリティーがそれを(14芒星を）経験しなければならないというよりも、他人を助けるためにそれを使うのです。

　実際、他の人間の苦しみを背負うのを助けるのは14芒星なのです。14芒星なしでは、その体は他人の苦しみを背負うことは出来ません。14芒星を持ち運びますが、その時にはその人は14芒星のなかにいるのではなく、また前のようにシンボルとしてそれを太陽神経叢に抱くのではなく、それを頭の上に持つのです。

　自己実現に到達してからは、前回述べたように、自己実現に到達した現在のパーソナリティーは保護のために、そして移動するために、つまり意識を場所から他の場所へと移すために六芒星を使います。そして、＜場所から場所へ＞と言う時、不可視のヘルパーは様々な場所を抱いており、フォーカスすべき場所が内側にあるのです。

Page4

　この実存の波動においては（＊今の世界では）もし私たちがどこかの場所に行く場合、その場所に移動しなければならず、私たちの意識はその場所に移行する必要があります。しかし現在のパーソナリティーが真の感覚を使う場合、移動するのは意識ではなく、意識がそこに行きたいと思う場所が移動するのです。全ては私たちの意識に向かって移動するのです。

　パーソナリティーが同調を現わすと何が起きるのでしょうか？移動？何も移動しません。全てはあなたの内側にあります、そして同化についてはそれは実際に理解を越えています。

　ですから、今私たちは物、場所へと移動しますが；後になると物、場所が私達の方に移動し、全てが私たちの内側にあるのです。

Q：情報が潜在意識に行くということですが、それは私たちの潜在意識のなかで働くのですか？

K：現在のパーソナリティーが何らかの知識の準備ができている時、それは潜在意識から表面に浮上してくるので、あなたは導いてくれる人または先生を必要としません。

Q：頭に14芒星を被るとはどういう意味ですか？

K：14芒星が頭にあるということは、あなたは痛みを感じる用意ができている、ということです。それが他人の痛みを背負い、その痛みを軽減するための唯一のやり方です。あなたが人々の痛みを感じる時初めてそれが可能になるのです。

　14芒星を持つことによって、人々の現れのレベルが何であろうと、あらゆる人間を抱きしめることができるのです。言い換えれば、人々が14芒星の各ポイントが意味するどのレベルにいようとも、最初のレベル、2番目、3番目または4番目、6番目であろうとも関係ないということです。このシンボルは法則を意味し、それは一つの元型なのです。単なる比喩ではありません。

　これら全てのシンボルは創造界で働いている法則を意味します；そしてそれらのシンボルを使用することによって、あなたは何かを達成することができます…あなたがそれを簡単にあるいは困難の末に達成しようとも。そして勿論簡単な方法とはマジック、魔術ですが、それは勿論私たちのやり方ではありません。なぜならば、簡単な方法はそのパーソナリティーを反対へとつなげるからです。パーソナリティーを二元性、両極性へとつなげます。私たちは両極性を後にして、これに成功したいのです。つまりこれらの法則を使用するべきです。法則にアプローチし、それらの様々な法則の助けによって無知の境界を取り除きたいのです。言い換えれば、**その結果現在のパーソナリティーが最初の磔に到達するように助けたいのです。**

　現在のパーソナリティーの大きな三角形が完成したとき、最初の磔はそれ以外に何を与えるでしょうか？ロゴス的サイドと聖霊的サイドがあります。ここ、このセンターに到達することで何が起きますか？現在のパーソナリティーはバランスを後にして、調和のステートに到達するでしょう。もはや二元性はありません、その三角形を完全にしたのです。

　ですから、**この自己実現のステートでは、二元性をつかわず、バランスではなくて存在の諸世界の調和があり、パーソナリティーは原因・結果の法則を経験することはありません。**

　ですから、「創造の元型」の中の各シンボルには目的があり、センターその他をつなぐ各ラインには目的があり、最終的に能力を与える可能性があります。

Q：創造の法則は良いことのためにあると思うのですが、それが人間によって悪いことのために使われるのは不思議です。いかにしてそれが許されるのですか？

K：それは許されています、さもないと私たちは経験を得ることができません。二極性、対立する二元の能力を提供する同じ諸法則がまた、パーソナリティーが二極性という制限を取り除くために助けるのです。**パーソナリティーを無知の領域のなかに縛り付けるエゴの様々な側面ですら、もっと多くLifeの本質を現わすために何らかの助けを使おうという強い衝動をパーソナリティーに与えることによって、パーソナリティーを助けるのです。実際、どんな努力もエゴには食料になるのです。**しかし、たとえそうであっても、最終的にはパーソナリティーは助けられるのです。ですから全てには目的があり、神によって与えられるものは何でも、言い方を変えれば神の黙想の結果として、それらは実存の諸世界にいる人間を助けるためなのです。あなたが考え得る全てがです。そしてもしそれが有用でなければ、それは神の黙想によって能力として与えられなかったことでしょう。

Q：あなたは自己実現にしたパーソナリティーはヒーリングという現象を行うためにブレーシス（＊神の意志）を使う、といいました。マジックを行う人はエレメンタルの助けによってそれを行います。そのエレメンタルはどこからそのエネルギーを得るのですか？

K：そのエレメンタルはそのエレメンタルにフォーカスする人、またはそれを作りだした人からエネルギーを得、ひとたびそのエレメンタルが肉体を使用しないと、そのエレメンタルは真の感覚を使います。それは思考の結果であり、思考は真の感覚を使います。

　ですから、エレメンタルの能力は肉体を用いるパーソナリティーの能力よりもずっと大きいのです。そうではありませんか？マジックのエレメンタルは誰かが作ったエレメンタルよりもずっと強力です。なぜなら、それらマジックのエレメンタルはまた様々な法則がその方向に向けて与えることのできるものによって力を与えられるからです。それゆえに、悪魔崇拝、マジックなどの様々な形態があるのです。それらは特定のプロセスの結果です。それらはシンプルな思考の結果ではないのです。

Ｑ：それらのエレメンタルは出来事を生み出すことができ、それゆえにそれらは非常にパワフルなのでしょうか？

Ｋ：それらのエレメンタルのなかには、まったく同じ波動ではないがこの世界の波動の近くまで波動を下げることさえできるものもあります。それはそれらのエレメンタルが、それに関係するプロセスによってどのようにアプローチされるかによります。そしてそれらの波動に近い波動を放っている人々だけが、それらのエレメンタルによる害を受けるのです。

　ですから､法則は肯定的/否定的という二極性の能力を提供します。真剣な探求者は常に肯定的なものにだけフォーカスすべきで、それらの法則が即座に提供するものに興味を持つべきではありません。なぜなら、何であれ即座に与えられるものは必ず否定的なものだからです。パーソナリティーは肯定的なものを達成するためには多くの努力をする必要があります。

Ｑ：四面ピラミッドのなかにおける三面および五面ピラミッドの時計回りの回転は真の四面ピラミッドへの入り口なのですか？

Ｋ：私たちの仕事は四面ピラミッドをマスターすることです。そうすることによって、もう一つのピラミッドを生み出すことができ、それは一面ピラミッドであり、つまり円錐です。そして円錐は何であれ五面ピラミッドが提供するものを私たちがどれだけ利用しているかを意味します。つまり、私たちがいかに意識的に本当の感覚を使っているかを意味します；2番目のサイクルで一面ピラミッドを生み出しても、まだそのパーソナリティーは意識的に真の感覚を使うことができるというわけではありません。

　一面ピラミッドというとき、それは意識の拡大を意味し、それは私たちがそれを行うという意味ではありません。実際、それはそのパーソナリティーが意識的に真の五感を使う程度を意味します。

　3番目のサイクルでは、私たちが円錐を作ると、できた円錐は私たちが真の五感を完全に使用していることを意味します。

　4番目のサイクルでも円錐を使うのでしょうか？勿論、3面および6面ピラミッドを回転させることによって、円錐は形成されます。しかし、実際に何が提供されるのでしょうか？5番目のサイクルでは六芒星は自動的に提供されます。同調があるので円錐を必要としません。意識を拡大する必要もありません。全ては私達の内側にあります。同調を現わす時には全ては内側にあるのです。実際、移動する必要もないし、何かを私達の方に持ってくる必要もありません。全ては内側にあるからです。

　私たちは全てになるわけではありません。なぜなら、それは同化の能力だからです。同化において、

***私たちはすべてが内側にありますが、同時に私たちも全てのなかにあるのです。***

そしてそれら全てを持つことによって、あなたは多くの不必要な経験を迂回することができるのです…自己実現に到達するためでさえも。**そうです、人間はこの地球上で自己実現に到達しましたが、それは多くの転生を経るという非常に長い、困難な道です**。

Ｑ：最初の磔に到達するのは3番目のサイクルですか？

Ｋ：最初の磔は自己実現、キリスト意識です。5番目は自動的です、それは現在のパーソナリティーの潜在的可能性の大きなサイクルをマスターしたことを意味します。5番目からは何でも自動的に与えられます。しかし、それは4番目ではありません。

　4番目のサイクルにいるパーソナリティーはまだ感覚、二元性を使っています。しかし、5番目からは何であれ自動的に二元性の上にあります。それは自動的にスイッチを入れるようなものです。パーソナリティーは自動的に不定形の身体を使い始めますが、それはスーパーサブスタンスの波動です。そしてここでの不定形の体とは現在のパーソナリティーの不定形の体ではなく、形という境界のない不定形の体を意味します。

　**天上人としてのイデアフォームとしての不定形の体というときには、その意味です。そこには形があるからといっても、意識の境界のない体です。初めは形がありますが、意識に従ってどのような形を取ることもできます。そしてその体は自己実現に到達した全ての人にとって同じです。アークエンジェルの体と同じであり、違いはまったくありません。唯一の違いは輝きだけです。**

　ですから、5番目のサイクルを完了することによって、達成すべきことは到達されます。そして自動的に自己実現した現在のパーソナリティーが誕生します。

Ｑ：イエスは磔にされ、十字架の上で最後の息を引き取りました。しかし、彼は特別な体を持っていて、彼が死んだら、始まりと終わりがありました。

Ｋ：身体は物質化され非物質化されました。ですから、何であれ十字架上でのことは、何であれイエスキリスト・ロゴスに関することは、主ご自身を全人類と結びつけるために象徴化されています。勿論、主の身体を物質化するというブレーシスは、全体としてアウタルキーのなかにおける絶対存在のブレーシスでした。それは個人のブレーシスではありませんでした。それは全体のブレーシス、絶対存在のワンネスのブレーシスだったのです。そしてイエス・キリストロゴスに関する全て、一つ一つの動きには目的があったのであり、あるのです。そして今私があるというのは、主の活動の結果としての動き、それは主、神に関係するという意味ですが、それは今でも他の惑星上で起きているからです。

　ですからイエスキリスト・ロゴスに関しては、全ては象徴化されており、彼は創造界におけるすべての人間のために話していたのです。**なぜなら彼は海だからです。彼はLifeの海であり、彼は神自身の現れのなかの絶対存在だからです。**

EREVNA PYR 8/03/A12